

管理職の言語化力強化

— 言葉で部下集団を動かす —

三省堂「新語大賞2024」は、「言語化」

「言語化」が「新語」とは疑問に思う方もいるかもしれませんが。たしかに「言語化」は以前からあった言葉ですが、主に学術用語として使われており、一般化されたものではなかったのです。ところがここ数年、若者の間でもよく使われるようになり、一般化したようです。

若者が持つ問題意識

なぜ、若者の間で使われるようになったのか。その理由は様々考えられますが、その一つと思われるのが、SNSの普及です。SNSによって、普通の人が自分の考えを世界に発信できるようになりました。その際、自分の考えを言葉にしなければなりません。いかに自分なりの考えを言語化するのか、それが重要になったのです。

すべてのビジネスパーソンに言語化力の強化が必要な理由

また、言語化への問題意識は若者だけではありません。社会の急速な変化に伴い、既存の言葉では説明できないテクノロジーや現象が生まれました。たとえば「生成AI」「メタバース」「ブロックチェーン」「ホワイトハラスメント」等々、枚挙にいとまがありません。このよう変化の中で、既存の語彙だけで物事を説明できなくなっているのです。

さらに、価値観の多様化によって「共通言語」がなくなり、「こう言えばわかるはず」は、通用しづらくなっているのです。

管理職にとって、言語化力の強化が必要な理由

さて、このような背景の中で、重要なことは管理職の言語化力です。幅広い世代の部下達に対して、どんな言葉で、どのように伝えたらよいのでしょうか。自分の考えを伝える目的は、組織の共通目標の達成です。そうすると、「ただ、言葉として意味は分かる」レベルではなく、皆をやる気にさせるための言語化力が必要なのです。

ところが、これまでの古いやり方、考え方で成果を出し、その結果として昇進した管理職にとっては、この言語化力の強化は、自己改革そのものと言ってよいかもしれません。そのためには、自分なりの言葉を紡ぎ出すためのベースとなる基本的な考え方（例えば、仕事観などの〇〇観）を見直すことから必要になってきます。

研修に時間を割く意義

これは、日常業務に追われている日々の中では、容易にできることではありません。そこで、一定の時間を割いて考える時間が必要です。そのためには、一定の時間（研修受講時間）を提供することが役立ちます。

弊社の管理職研修シリーズは、貴社の状況に合わせたテーマで実施するオリジナル研修です。その一例として「管理職の言語化力強化研修」があります。

興味・関心のある方は、まず下記から是非ご相談下さい。ご相談・仮提案は無料でさせていただきます。

> お問い合わせはこちら

